

小中一貫教育だより

加東市教育委員会 小中一貫教育推進室

E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp

令和4年1月24日発行

東条学園小中学校新校舎完成を祝い、竣工式を開催しました

1月10日（月）、透き通るような青空のもと、東条学園小中学校の新校舎の完成を祝って、竣工式を開催しました。竣工式には、末松文部科学大臣や藤井衆議院議員、市長をはじめ、大勢の関係者や地域住民の方々に出席していただきました。

第1部 セレモニー (9:30～)

オープニングセレモニーでは、竣工を記念して、新校舎1階の玄関前で、来賓、主催者、学校長、学園生によるテープカットを行いました。紅白の真新しいテープにはさみが入り、新校舎の完成を祝いました。

テープカットの際は、東条学園小中学校吹奏楽部の演奏に合わせて、子どもたちの夢と希望を乗せた風船が、空高く舞い上がりました。



第2部 式典 (10:00～)

式典は、体育館棟3階の大体育館で行いました。新型コロナウイルス対策のため、参加人数を制限しましたが、関係者や地域の方々に参列していただきました。学園からは7・8・9年生が出席しました。美しい歌声で校歌を合唱し、式典に花を添えました。

代表して学園生会長の山田真央さんが、「同じ校舎で1年生から9年生まで一緒に生活できることを楽しみにしていました。活気にあふれ、さらに素晴らしい学園になるように、これまで以上にみんなで力を合わせていきたいです。」と喜びの言葉を述べました。

出席した学園生の凛とした佇まいは、竣工式の厳かな雰囲気とふさわしい立派な姿でした。新校舎とともに新しい歴史を作ろうとする学園生の意気込みを感じました。



第3部 施設内覧 (11:00～)

竣工式終了後には、参列者の方々に新校舎を内覧していただきました。内覧に先立って、8年生が校舎の各所に立ち、内覧者を元気なあいさつで迎えました。さわやかにあいさつする姿、各教室でひたむきに学ぶ姿から、真新しい校舎で新学期をスタートした学園生の喜びを感じました。

新しい校舎での学園生の今後の成長が楽しみです。



社地域小中一貫校の「愛称」を募集します

2025（令和7）年4月に、社地域の5つの小学校が1つになってできる新しい小学校と、1つの中学校を、小中一貫校として開校する予定です。そこで、地域みなさんに愛され親しまれる学校となるよう、愛称を募集します。愛称とは、学校のことを、親しみを込めて呼ぶ呼び方のことです。今後はこの愛称をもとに、校歌などの検討をする予定としています。

【参考：小中一貫校の愛称の例】

小中一貫校の愛称	※今回募集する愛称です	柔例上の学校名
東条学園（加東市）		東条学園小中学校
東山開晴館（京都市）		開晴小学校・開晴中学校 （※現在は、開晴小中学校）
彩都の丘学園（大阪府箕面市）		彩都の丘小学校・彩都の丘中学校
能勢ささゆり学園（大阪府豊能郡能勢町）		能勢小学校・能勢中学校

◇募集対象

社地域にお住まいの方、社地域の市立小学校及び中学校（社小学校、福田小学校、米田小学校、三草小学校、鴨川小学校、社中学校）の児童・生徒・教職員

◇応募期間

令和4年1月31日（月）まで ※必着

◇応募方法

応募用紙【市ホームページからダウンロード可能】に必要事項をご記入のうえ、加東市教育委員会事務局、社公民館、社地域の市立学校に設置する応募箱に投函いただくか、封書、官製はがき、電子メールで加東市教育委員会事務局こども未来部小中一貫教育推進室宛にご応募ください。（応募は、一人一点とします。）



◇選定基準

漢字、ひらがな及びカタカナにより表記された愛称で、次の条件の1つ以上に該当するものとします。

- ・ 地理的にイメージできるもの
- ・ 歴史、文化、特徴を表したもの
- ・ 住民の理想や願いを大切にしたもの
- ・ 住民が親しみやすいもの
- ・ その他社地域の新しい小中一貫校としてふさわしいもの

◇決定方法

ご応募いただいた愛称を参考に、社地域小中一貫校開校準備委員会で協議、選考します。（※応募数によって愛称を選定するものではありません。また、選定に当たって、応募作品の一部を修正する場合があります。）なお、結果は、後日公表いたします。

応募・問合せ先
 〒673-1493 加東市社50番地
 加東市教育委員会事務局 こども未来部 小中一貫教育推進室
 TEL：0795-43-0562 FAX：0795-43-0559
 E-mail：shochu-ikkan@city.kato.lg.jp